

入学から卒業後まで

継続的な支援を目指して

平成22年度学術情報リテラシー教育担当者研修

平成22年10月22日(金)

大阪大学会場 6班

入学から卒業後まで

継続的な支援を目指して

現状

とても困っています。

□ 現状(とても困ってます。)

- 誰にいつ何をどうする？
- 学生がつまらなさそう
- 学内で孤独な図書館
- 1回きり？
- 担当職員の異動・交代

□ キーワードをあてはめる

- ・誰にいつ何をどうする?・・・ニーズ
- ・学生がつまらなさそう・・・能動的
- ・学内で孤独な図書館・・・連携
- ・1回きり?・・・継続性
- ・担当職員の異動・交代・・・体系化

□ 問題解決に向けたキーワード

ニーズ

能動的

連携

継続性

体系化

1. ニーズ

変化していく学生・教員のニーズ

- ・顕在的ニーズ
- ・潜在的ニーズ



提供内容とのギャップを埋める

2. 能動的

積極的に参加できる講座づくりって？



**多様なしかけ
(協同学習型や双方向)**

3. 連携

図書館主体≒独りよがり？



教員、カリキュラムとの連携強化

4. 継続性

初年次教育から卒論・レポート
(3・4年次)までの空白期間



学年に見合った継続的な講座の実施

5. 体系化

あれ？

5. 体系化

今までのキーワードを見てみると、

すべて**体系化**につながっている！

入学から卒業後まで

継続的な支援を目指して

体系化したプログラムを行うためには



大学の教育環境に応じた
コース設計が必要！

入学から卒業後まで

継続的な支援を目指して

さらには

**体系化したプログラムを
大学全体に発信しよう！**

入学から卒業後まで

継続的な支援を目指して

**ご静聴いただき、
ありがとうございました。**